

令和6年度 新規研究課題の概要

No.		期待される成果
01	<p>【栽培技術開発部・丹後農業研究所・茶業研究所・生物資源研究センター】</p> <p>府内全域の中山間地域に適用可能な農作物管理適期を予測するシステム開発</p>	<p>中山間地域が多く、地形が複雑な府内全域の様々な農地利用形態に適応した50mメッシュ気温推定モデルを構築し、茶、水稻、黒大豆枝豆、梨の生育や病害虫発生等の精度が高い予測モデルを作成することで、高品質安定生産を実現する。生産者が簡単に活用できるシステムを構築する。</p>
02	<p>【生物資源研究センター】</p> <p>パパイヤ輪点ウイルスに対するワクチン苗を基幹とした総合管理体系の確立</p>	<p>京都府内のキュウリ栽培で問題となっているキュウリモザイク病の病原ウイルスのうち、果実に被害を及ぼすパパイヤ輪点ウイルスに対する防除技術を確立し、キュウリモザイク病の発生ほ場率を半減する。ワクチン苗を基幹とした、キュウリモザイク病の総合管理体系を確立する。</p>
03	<p>【生物資源研究センター】</p> <p>ネギ黒腐菌核病に対する総合管理体系の確立</p>	<p>京都府内の九条ねぎ栽培において近年多発している黒腐菌核病の発生実態を解明するとともに、緑肥作物及び特殊肥料を活用した化学農薬に頼らない防除技術を確立し、黒腐菌核病の発生程度に対応する総合管理体系を確立する。</p>